

第6回一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

令和5年2月20日(木)10:00 開会

場所:一宮市役所 本庁舎 11階 1101・1102 会議室

次 第

1. 開会

2. 議事

【審議事項】

(1)地域福祉計画・地域福祉活動計画のパブリックコメントの結果について

(2)地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終案について

3. その他

地域福祉計画・地域福祉活動計画の公表について

4. 閉会

【議事資料】

(事前配布)

①次第

②地域福祉・地域福祉活動計画(素案)市民意見提出制度に寄せられた意見と市の考え方

③一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画(案)

(机上配布)

①第6回一宮市地域福祉計画策定委員会 座席表

議事録

出席者: 17名

1. 岩田委員、2. 鵜飼委員、3. 大久保委員、4. 太田委員、5. 尾関委員、6. 杉本(一)委員、
7. 杉本(尚)委員、8. 高木委員、9. 竹内委員、10. 田中委員、11. 丹菊委員、12. 藤園委員、
13. 松崎委員、14. 松原委員、15. 松宮委員、16. 森委員

欠席者: 1名

傍聴者: 0名

10:00 開会

開会あいさつ

委員出席について

議事

【審議事項】

(1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画のパブリックコメントの結果について

事務局より資料をもとに説明

会長 ありがとうございます。パブリックコメントの結果について事務局より説明いただきましたが、ご意見・ご質問等いただけますでしょうか。ちなみに私からになります。表紙に理念を入れていただいたということによろしいでしょうか。

事務局 次の議事で説明させていただく予定でしたが、皆さまのお手元にあります計画案の表紙に、パブリックコメントを受けて、基本理念である「いつまでも ともに育む “いちのみや” ～みんながつながり支え合い、地域が織りなす共生社会をめざして～」という文言を掲載しております。

会長 ありがとうございます。次の議題になるということですが、パブリックコメントの結果については、いかがでしょうか。

それでは、次の審議事項に移りたいと思います。

(2) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終案について

事務局より資料をもとに説明

会長 ありがとうございます。修正点等も含めて説明いただきました。ご質問・ご意見があればお願いします。前回会議から、パブリックコメント期間での精査についての修正点も含めてですが、よろしいでしょうか。議事終了後に、質問等の時間も取れるかと思っています。それでは次に進めたいと思います。

その他

地域福祉計画・地域福祉活動計画の公表について

事務局より、公表に向けた作業として、改めて誤字・脱字の修正とともに資料編として計画策定の経緯・委員名簿・用語解説等を掲載することや概要版を作成すること、これらを進めるにあたっては事務局一任で進めさせていただくことなどについて説明

会長

ありがとうございました。計画の公表について説明いただきましたが、何かご意見・ご質問はありますでしょうか。資料の追加などについては事務局一任ということも含めてお認めいただければと思います。

ありがとうございました。それではこれまでのところで、全体を通して、公表も含む中のご意見やご質問等がありますでしょうか。議題については、今回のパブリックコメントが少ないのでこれで終わりになりますが、せっかくの機会ですので、計画策定を通じて感じたことや今後について、委員の皆さまそれぞれのお立場から計画・活動計画の推進に向けてご意見や抱負のようなものがあれば、一言ずついただければと思います。

鵜飼委員

どうもありがとうございます。このように最終案を目の当たりにして、非常に感無量です。良い案ができたと思います。私からは3点ほどお話をさせてもらえればと思います。

私は実際、ボランティア等いろいろな活動に参加しておりますが、やはり「人」だなと思います。人があってこそ、いろいろな活動が進んでいきますし、福祉は人ありきだと思っています。例えば最近の2月12日ですが、私の連区では公民館で、3年ぶりの文化祭が開催されました。地域の方はもとより、近くの連区、周辺地域からの参加者があり、大変盛況でした。コロナ禍を受けて実施できなかった行事を含め、これまでの人間関係の棚卸しできたように思います。みんなが集まるコミュニケーションの場が大事だと思いました。2点目は、私は公募市民として小論文を書いてこの会議に来ましたが、コーディネーターが必要だと思います。皆さんボランティアをやりたいとか、興味があるとかのお気持ちはあれど、どうすればいいのかわからない、どこに行けばいいのかわからないということで、はじめの一步を踏み出すのが難しいのではないかと思います。先ほども丹菊委員と話しておりました。ボランティアを一步踏み出せるような機関、連絡調整をするコーディネーターが地域にいればと思いますし、その場所は公民館であれば望ましいのではと思います。公民館ではいろいろな活動をされているかと思いますが、ボランティアとも関連しますし、人材バンクを作っていくことが大事かと思っています。このことであれば、どこの町の誰々さんが詳しいなど、そういう話もできるのではないかと思います。私も、もしお役に立てるのであれば、人材バンクに登録しようという気持ちはあります。「自主」を例として挙げますと、自主講座の開設希望者の説明会というものもあります。講座を開きたいという有志はいらっしゃるんです。先進的なところもあるということで、よろしく願いできればと思います。

最後になりますが3点目。これは行政の方へのお願いになりますが、せっかくの地域福祉計画・地域福祉活動計画ができました。大変立派であるし誇るべきことだと思います。計画を進めるにあたってはコーディネーターもそうですし、モデル地区、福祉であればこの地区、などというように、熱心なモデル地区を定めるなどして、これを目標や参考にしながらやっていくことが大事だと思います。これからがスタートで、これからが大事なことだと思います。素晴らしい計画ができたということで、発展させてほしいと思います。勝手なことばかり申し上げましたが以上です。ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。まさに地域福祉計画・地域福祉活動計画の趣旨に沿う意見をいただきました。特に地域福祉の参加促進を謳われており、今回の計画でいうと88ページの評価指標で、前回の委員会で確認された点になると思いますが、例えば参加ができる「認知症サポーター養成講座受講者数」ですとか「たすけあい隊の登録人数」など、様々

なかたちで進めていくことが謳われていますので、計画の実現にあたってはこのご意見を参考にいただければと思います。もう一つは重層的支援体制の整備のところで、令和6年度から全必須事業を実施ということで、コミュニティソーシャルワーカーの配置とか参加支援ですとか、おっしゃっていただいたコーディネーター的な、地域に参加する人材をつなげていく、あるいはアウトリーチをしながらニーズを聞き取っていくような立場の専門職ということですので、こういった点を含めてご検討いただければということです。

75 ページからが、まさに重層的支援体制整備事業実施計画ですが、先のご意見に対応できるような話になろうかと思いますので、力を入れていただければと思います。

ありがとうございました。せっかくの機会ですので、委員の皆さまのお立場からご意見や、これまでの感想等についていただければと思います。いかがでしょうか。

丹菊委員

今日で第6回の委員会ということで、お疲れ様でした。第1回の委員会は令和3年8月に書面で開催され、皆さまの顔も分からない中で、これからの計画策定がどうなることかと不安に思っていました。こうして立派なものできて良かったと思っています。

先ほどもおっしゃっておられましたように、これからの推進にあたってが大事になってくるかと思っています。おっしゃったとおり、私のボランティアの活動をとおして、みんなの身近で地域福祉のこういう支え合いが広がるのが大事だと思っていましたので、計画ができるのを心待ちにしていました。あとは実施かと思っています。

一つ気になったのは、計画案の3ページですが、地域福祉計画は市の計画の上位計画であるなか、いま出席いただいている職員の皆さんは福祉分野の方ですので、これを見ると防災の危機管理室とか、子育て支援ですとか、そういう方面の方にも、これが上位計画である旨を、策定時には当然、行政内では共通認識のもとで検討いただいたものとは思いますが、改めて他の部署の皆さんに周知いただきたいと思っています。最後はお願いだけになります。ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。重要な点を指摘いただきました。地域福祉計画は法的にも重い位置づけで、横断的な性格になります。計画の中でも強調されていましたが複合的な課題を取り扱うもので、子どもと高齢者であったり、防災と高齢者であったり、部署を横断するものになります。何か相談をいただいた場合は、多機関を含めて案内する仕組みが強調されていたと思います。部署間を跨いだ協力が必要になりますし、横断的な協力がないと実現不可能かと思っていますので、指摘いただいた内容も含めて、庁内で広く共有いただければと思います。また、概要版も作成されるとのことですので、広く趣旨の部分も含めて強調していただくよう、どうぞよろしく申し上げます。今の点について事務局からはいかがですか。

事務局

丹菊委員よりご指摘いただきました通り、他の部署にも改めて認識させて、広めて、しっかりと推進していきたいと思っています。

会長

ありがとうございました。それでは皆さまの立場からご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。ご要望やご意見でも結構です。

あるいは市や社協から、令和6年度から重層的支援体制整備事業が実施予定ですが、今の段階でお話いただけることなど、いかがでしょうか。

事務局

重層的支援体制整備事業につきましては、本事業を令和6年度からを目指してはおりますが、今現在、移行準備事業ということで多機関協働など、今ここにいらっしゃる社会福

社協議会に委託しながら、一つ一つの事例を通して、いろいろな部署・多機関が連携するような仕組みであったり、現場に出向いて、個別事例のみならず、現場で活動している一般の方のところに出向いて、地域の状況がどういったものか知ってくる、というような取組を行っているところです。

事務局

社会福祉協議会の真下です。ご意見ありがとうございます。鶉飼委員、丹菊委員からいただいたことも含めて、ボランティアさんのコーディネーターを含め、ボランティア人材をつくるという取組を社協はやっていますので、こういったことを含めて、コーディネーターを社協がやるのも一つではありますが、人材をつくるという発想も必要になってきます。そういったことも含めて、重層的支援体制整備事業は参加支援とか、訪問支援とかを含めて、総合的に誰一人取りこぼさない方向で体制をつくることですので、皆さんの意見をいただきながら検討して、十分な体制をつくることができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長

ありがとうございました。ちょうど計画の 75 ページや 76 ページが該当しますが、委員の皆さんの意見を踏まえたかたちでコメント・ご案内をいただきました。

いかがでしょうか。もう少し時間がありますが。

杉本(一)委員

一宮児童相談センターの杉本です。なかなか出席できず申し訳ありませんでした。昨年のちょうど今頃だったかと思いますが、一宮市では子育てに困っているお母さんが、3人の子どもさんを手にかけてしまったという非常に痛ましい事件がありました。やはり子育てに困っている方が相談支援にアクセスできるかが非常に重要だと思っています。33 ページの丹陽町連区に記載がありますが、「子育ての悩み、心配事を聞いてもらえる人がいない」ということが最後の行に書いてあります。やはり一番最初に、どういう風にこちらが対応するかが重要だと思っています。私どもも相談機関ですが、保護者の方に相談をいただいたときに、「今日はよくお電話いただきました」という一言が言えていないというのがあります。最初の出会い、ここに相談して良かったと思えるような対応ができているだろうか、振り返って考えられることが重要で、まずそこからスタートしないといけないと思います。できあがった計画を実際に活用していただけるかどうか重要であると思いますし、そういう対応ができているかにかかっていると思います。子育て支援、市の窓口もたくさんありますが、困って勇気を出して相談をされたときに、そういう対応がどこでもできるようにすることが重要かと思っております。

会長

ありがとうございます。貴重なご意見をいただきました。相談支援体制の整備については、本計画でより一層促進させる、連携も含めてですが、対応は必ずどこかにつながる、必要なところにつなげられることが全庁舎で必須のことかと思えます。丹菊委員からの要請もありましたが、ぜひすべての部署で、対応の在り方について周知していただいて、計画が実現できることがその意義であると思います。貴重なご意見、ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

では、議事は全て終了となりますので、事務局にお返したいと思えます。円滑な議事の進行への協力、ありがとうございました。

事務局

どうもありがとうございました。

今回をもって策定委員会は終了となります。福祉部長の橋本よりご挨拶申し上げます。

事務局（福祉部長） 福祉部長の橋本でございます。今回を持ちまして、一宮市地域福祉計画策定委員会も最終となりました。委員の任期は令和5年3月 31 日ともう少しありますが、お集まりいただくのは本日が最後となります。事務局より御礼を申し上げます。

松宮会長におかれましては、ご多忙の中、策定委員会のまとめ役として、大変なご苦労・ご尽力をいただきまして誠にありがとうございました。松宮会長からご助言・ご指導を賜りまして、非常に有意義な会議を積み重ねることができ、お力添えを感謝いたします。

委員の皆さまにおかれましては、一昨年の8月に第1回策定委員会を開催してから1年半あまりとなりますが、この地域福祉計画・地域福祉活動計画をはじめ、再犯防止推進計画、重層的支援体制整備事業実施計画を一体的に策定するため、幅広い内容をご検討いただくとともに、熱心にご協議いただきまして、おかげさまで計画の完成の目途が立ちました。誠にありがとうございました。新たな計画につきましては、様々な福祉課題に対処し、障害者・高齢者・生活困窮者・子どもに対する施策の垣根を超えるとともに、地域共生社会の実現を目指し、行政・関係機関や団体・市民との連携を含め、総合的にまとめております。今後、私どもは計画に盛り込まれた数々の取組を着実に進めるとともに、委員会において何度もご発言がありました通り、絵に描いた餅にならないよう、今後新たに発生する福祉課題にも対処すべく、広く耳を傾け、新たな施策を実施することも必要になると考えております。その際には、皆さまのご協力をお願いすることも出てこようかと思っておりますが、どうぞよろしく願いいたします。以上、簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局 それでは、以上をもちまして、第6回地域福祉計画策定委員会を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

10:35 閉会